

RSと呼ぶに相応しい 新たなるスポーツギア。

レーシングスプリング、レーシングシルマート、ロッドスポツ、ロッドセーリング。そんな4つのキーワードを掲げて生み出されたRSは、過去から受け継がれるRSの称号に相応し、スポーツマインドを身にもちたトピス。レス仕様の鍛造モデルに採用する断面形状を再現した、ホンキで走れる極上のスポーツギアである。

イメージの演出だけでなく、実際に剛性と強度を高められるレーシングテックロジが由来、PCDサークルの間にツイエアスリーブを設けるなど、放熱性にも配慮してあり、とことん硬派だ。



リム裏にはRSのロゴが隠れた専用エンブレムを標準装備。シリアルナンバーも、色味も加え、アクセントとして効果満点。



リムにスポークを兼ねることでスポーティさを強調。シリアルナンバーが「アブ」された造形で、ディスクがより大きく見える。



PCDサークルの間には放熱性にも配慮したツイエアスリーブを搭載。高級感と精悍さが同時に宿る専用オーナメントも採用。



バランス感に優れた10本スポークデザインを採用。断面は上から見ると、側面を鋭く込んだ台形に、この構造が剛性を高める。



ハイパーシルバーマシニング

グロリーブラックマシニング

WORK EMOTION

RSα ワークエモーション/アールエスアルファ

問:ワーク ☎6-6746-2859 <http://www.work-wheels.co.jp>

SIZE	H-PCD	PRICE
17×7.0	5-114.3、5-100、4-100	3万4000円
18×7.5	5-114.3、5-100	3万8000円

■カラー:ハイパーシルバーマシニング、グロリーブラックマシニング
■噴塗:黒塗装 1ピース

タフなディスクで 際立つ存在感!

最も過酷な自動車競技として知られるアジアクロスカン トリーなどの参戦車両に供給するモデルをベースに、そこで活躍するドライバーからのフィードバックをプラス、ストリート向けに開発されたのがこのT-GRABIC。つまりその素性、レース直系、仕事でも使用し、ときに重量のある荷物を積むときもあるハイエースにとつて、まずはそのタフなバツクホーンは、大きなアドバンテージとなる。

意匠もその性格と同様、圧倒的にタフネスな印象。曲車をモチーフとしたウェーブデザインはメカニカルで、しかもその曲車が二重となるダブルキアスタイルだから斬新さもバツグン。リム外周をビードロッキング風とするとビジュアル性もこだわっており、競技モデルばりの無骨だけでなく、魅せテクラも一級品。

オフ系でも、スポーツ系でも、まさにビタリ。タフな装いを自指すなら、間違いない。



CRAG T-GRABIC

クラッグ / ティーグラビック

問:ワーク ☎06-6746-2859

http://www.work-wheels.co.jp

SIZE	H-PCD	PRICE
17×6.5～8.0	6-139.7	4万2000円～4万5000円

■カラー:マツカ-ゼンカドリム、アッシュチタンカドリム

■構造:鍛造1ピース



ホイール断面はコペックス形状。センター部は限界までデブコーン化し、中心部を肉薄で形成して軽量化も実現。



曲車型のフェイスを重ね合わせたダブルキア形状は1/4フルかつ新材料、内と外で開口部数が異なることも運動性の秘訣。



ビードロッキングを採用したリムは、3ヵ所にワークのロゴが描かれる。駒のアンダーカット加工も採用、立体感大。



内と外のフェイスをつなぐリング形状は、両性アップに貢献。ディスクはカーボン系とチタン系の精悍な2色を用意。

